

第5章 わたしにできることってなんだろう？



ボランティア活動ってなんだろう？

社会の一員として、わたしたちにできることの1つにボランティア活動があります。

ボランティア活動とは、おたがいが支え合い、
すべての人が幸せにくらせることを願って、自らが進んで取り組む活動です。
心と心のふれあいを大切にしながら活動していく
ものです。
「いつでも」「どこでも」「自分から」できる活動が、
ボランティア活動です。



はなう
花植えボランティア



あなたの知っているボランティア活動を花びらに書いて、すてきな花を咲かせましょう。



**よ
読みきかせボランティア**

こ
どもたちに
ほん
本の読みきかせを
してくれ
ます。
たの
楽しい絵本の世界に
つ
連れて行ってくれます。





ぼきんかつどう あつ かね
募金活動で集まった「まごころ」のお金
が、社会の役にたっています。



ちいき ひと どうろ わき はな
地域の人たちといっしょに道路わきに花
を植えて、花が咲くまちづくりに取り組ん
でいます。



かわ せいそうかつどう おこな しみん
川の清掃活動を行うことで、市民のみな
さんが気持ちよくすごせるだけでなく、自
然の生き物の命も守られています。



じぶん いちばんたいせつ ほん ひがしにほん ひさい
自分の一番大切な本を、東日本の被災された
かたがた よ げんき
方々に読んでもらい元気になってもらおうと
じんせいいつざつ と く
「人生一冊プロジェクト」に取り組んでいます。



さいがい お とき じぶん
災害が起きた時は、自分にできることを
みつけてみんなで助け合うことが、まちの
ふっこう
復興につながっていきます。



アルミかんやプルタブをたくさん集めて、
くるま からだ ふじゆう かたがた おく
車いすにかえ、体の不自由な方々へ贈っ
ています。

自分ができそうなボランティア活動に〇をつけましょう。



わたしにもできるボランティア活動！



やってみよう！ボランティア活動！

できるとしたいこと

取り組んでみた感想

| | | |
|--|--|--|
| | | |
| | | |



ほきん おく ふくしやりよう
募金をもとに贈られた福祉車両



こうえん せいそうかつどう
公園の清掃活動



みなさんの「まごころ」のこもった募金のおかげでとても助かります。ありがとうございます。

小さい子どもたちが遊ぶ公園がとてもきれいなので、気持ちよく安心して使えてうれしいわ。





おばあちゃんの笑顔

わたしが、二年生のときのお話です。

わたしの家のとなりには、おばあちゃんが一人でくらしていました。

ある日の夕方、家に帰っているとき、おばあちゃんがゴミ出しをしているのを見かけました。

両手にかかえてとても重そうにしていたので、声をかけて手伝おうと思いました。

でも、一度も話したことがなかったので声をかける勇気が出ませんでした。

次の週もゴミ出しをするおばあちゃんに出会いました。

今日のおばあちゃんは、「はあ、はあ」と声が聞こえるくらい大変そうでした。

わたしは、今日こそはと思い切って

「おばあちゃん、お手伝いしましょうか。」

と声をかけました。

するとおばあちゃんは、

「ありがとうね。」

とにっこりとほほえんで答えてくれました。

それからわたしは、ゴミ出しの日にかかさずおばあ

ちゃんに声をかけて、手伝いをしました。

わたしが六年生になって、小学校を卒業する少し前

のことでした。

いつものように夕方、ゴミ出しの手伝いをしていると

おばあちゃんが、

「今日もありがとうね。もうまゆみちゃんも小学校

卒業だね。雨の日も風の日も長い間、おばあちゃんの

ゴミ出しを手伝ってくれて本当に感謝していますよ。

一人ぐらしのわたしは、ゴミ出しの日にまゆみちゃんに



あ 会えるのが一番の楽しみなんです。中学校に進学してもたくさんの人をわたしのように喜ばせてあげてね。まゆみちゃん、あなたならきっとできますよ。」
と、話してくれました。

わたしは、おばあちゃんがこんなに喜んでくれているなんて考えたこともありませんでした。それどころか、わたしがおばあちゃんの手紙から元気をもらっているような気持ちでした。近くに住んでいても遠くに感じていたおばあちゃんと心がつながった気がしました。

そんなおばあちゃんとは二十歳を過ぎた今でも、大の仲良しです。



ふだんの
くらしの
しあわせ

人の役に立つことや人とつながることの喜びを知ったまゆみさん…。

「ふ・く・し」…それは「ふだんのくらしのしあわせ」…あなたが、社会の一員としてまわりの人たちのためにできることは何でしょうか…。